

かみすながわ

議会だより

令和5年 第1回定例会

第25号

発 行

上砂川町議会

編 集

議会活性化特別委員会

上砂川町議会事務局

電話 0125-62-2880



掲載内容

* 主な議会政務報告について	2 P
* 一般質問と答弁内容（要旨）について	4 P
* 行政常任委員会報告について	6 P
* 町内行事への参加報告について	8 P
* 議員の玄きコーナー	10 P

主な議会政務報告について

令和5年6月以降～

年月日	会 議 行 事 名	場 所	出 席 者
R5 6 ～ 7	1 上砂川町老人クラブ連合会総会	役場	議長
	2 第53回体育祭	上砂川中学校	議長 議会運営委員長 行政常任副委員長
	3 第32回なかよし大運動会	中央小学校	副議長 議会運営委員長 行政常任副委員長
	第2回上砂川町議会定例会	議事堂	議長他6名
	7 全員協議会	議事堂	議長他6名
	故伊與田元滝川駐屯地司令を偲ぶための献花	滝川市	議長
	15 北海道町村議會議長会第74回定期総会	札幌市	議長
	18 令和5年上砂川消防演習	上砂川支署	議長他4名
	20 上砂川町社会福祉協議会懇親会	町民センター	議長
	23 戦没者追悼式	町民センター	議長・議会運営委員長
7	25 第69回北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習	滝川市	副議長
	28 第3回上砂川町議会臨時会	議事堂	全議員
	行政常任委員会	役場	全委員・議長
	1 自由民主党北海道第10選挙区支部令和5年度政経セミナー	岩見沢市	議長
	2 鶴神社祭典	鶴神社	議長
	4 北海道町村議會議長会議員研修会	札幌市	全議員
	5 中空知ふるさと市町村圏議員研修会	歌志内市	議長他6名
	12 空知町村議會議長会議員研修会	栗山町	議長他5名
	滝川駐屯地修親会・滝川自衛隊協力会合同送別会	滝川市	議長
	19 北海道町村議会新任議員研修会	札幌市	笹木議員・藏根議員・石田議員
	20 上砂川商工会議所・青年部主催ビアガーデン	産業活性化センター	議長

	21	夏の交通安全運動（旗の波）	町内	議長
	22	全国高校総体開会式	札幌市	議長
	24	参議院議員船橋利実政経セミナー	札幌市	議長
	25	衆議院議員稻津久氏来庁	役場	議長
	28	社協・日赤『たすけあいビールパーティー』	町民センター	議長
8	1 ～ 3	中央要望実行運動	東京都	議長
	2	無縁物故者供養式	無縁の塔	副議長
		炭鉱殉職者慰靈追悼式	炭鉱殉職者慰靈の碑	副議長
	6	「核兵器の廃絶と世界恒久の平和を願う」上砂川町の集い	平和の塔	全議員
	13	上砂川商工会議所「第21回仮装盆踊り花火大会」	町内	議長他
	23	いなつ久を励ます会	岩見沢市	議長
	31	空知中部広域連合議会第2回定例会	奈井江町	議長・小澤議員
9	1	空知中部広域連合議会交流会	歌志内市	議長・小澤議員
	3	2023鈴木直道政経セミナー	札幌市	議長

令和5年第3回上砂川町議会定例会を傍聴しませんか？

本会議は、簡単な手続きで自由に傍聴することができます。町議会の活動などを知るよい機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更となることがあります。

○議会日程及び傍聴可能日：9月12日（火）・14日（木）

一般質問

(質問者順)

議席番号3番

笛木 紗子議員



質問要旨

「上砂川町史の編纂」について

町域に関する貴重な歴史的資料を網羅的に収集、整理、保存し、次世代に伝えていくことは自治体としての債務と考えるが、現在のところ編纂の予定はないと伺いました。

令和元年に上砂川120周年開町70周年時に記念誌が発行されていますが、「上砂川町史」について

ては昭和63年以来35年間編纂されていません。

町史は元来、頻繁に刊行されるものではないが、着手から刊行までには多くの期間を要すると推測します。このままで、町の歴史を語り伝える物的遺産のみではなく、資料の収集、古老人方々への聞き取りなど貴重な地域の英知が失われることも考えられます。

町史は、日常的に手にするものでもなく、身近な書物ではないが、デジタル化を導入、一般に公開することで、誰もがどこでも上砂川町の歴史に容易に触れることが可能になり、活用方法も広がると考えられます。郷土の記録を未来に残すために、デジタル化も視野に編纂、刊行に向けて早々に着手を要望いたします。

本町の町史につきましては、昭和34年に開町10周年の記念事業の一環として発行され、その後、昭和63年に開基88周年を

答弁要旨

記念し昭和62年の炭鉱閉山までの記録を掲載するとともに、さらにそれ以前にも増補し「新上砂川町史」として発行しております。町史発行から35年経過していますが、平成11年には、開基100年開町50周年記念事業の一環として、町勢要覧や映像として「かみすながわ1世紀の軌跡」の製作、平成29年には閉山30年の記念映像として、本町発展の礎となつた炭鉱と石炭の歴史を後世への教育と継承を図ることを目的に「かつて炭鉱(やま)」があり炭鉱(やま)に生きた」のタイトルで同じく映像の製作、令和元年度には、上砂川120年開町70年の記念誌として町勢要覧を作成しております。町史の編さんによる、閉山後の資料の収集や古老の方々への聞き取りなどは、これまで製作した町勢要覧や記念映像における記録・整理されているとともに、平成28年29年度には、専任の職員を配置し町史編さんに種資料を整理しており、発行してまいります。

向け準備を進めています。また新たな町史につきましては、ご指摘のとおり頻繁に発行するものではなく、記念事業に合わせて発行することが一般的であり、その他専任職員の配置や町史編さん・編集委員会の立ち上げ、数年程度の期間を要するほか、発行に当たっては、資料整理も含め発刊時期は未定であります。作業は進めております。また、デジタル化につきましては、次代の流れであることから検討してまいります。



議席番号4番

小澤 一文議員



質問要旨

自転車用ヘルメット貸出し支

援について

自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。家計の経済的負担を考慮し、ヘルメットの貸出しによる支援に取り組むことで、自転車利用者の安全確保のサポートに努めるべきです。

答弁要旨

道路交通法の一部改正により努力義務化となりました自転車乗車中のヘルメット着用について、交通事故の際の被害軽減に大きな効果があることから、全国的にヘルメット着用に向けた働きかけが行われる中、本町においても上砂川町交通安全推進委員会を通じて、啓発活動を行つていかなければならぬと考えています。

本町におけるチャイルドシートの貸出しを例に、議員よりご提言のありました自転車用ヘルメットの貸出し支援につきまして、チャイルドシートは、貸出期間が一時的であり管理個数が少數であること、また購入額も一般的には2万円台から3万円台以上と高額になるものが多く、利用者の負担が大きいことから制度化したものであります。自転車用ヘルメットはシーズン

を通した長期的な貸出しとなることが予想され、恒常的に使用されることから1家庭への貸出し数、貸出期間等の設定も難しく、現在のところ制度化は予定しております。

しかしながら、ヘルメットの着用には強制力がないため定着しにくく、北海道においては特に着用率が低いことから、今後、道や道警、地域が一体となつた啓発活動が必要であるとともに、町においても交通安全推進委員会と連携し、小中学校での指導や幼児等に対する交通安全マナーの教育を後押しする中で、ヘルメットの着用に対する呼びかけと自転車の安全利用に向けた取り組みを進めてまいりますことを申し上げ、答弁いたします



質問要旨

町道の安全確保について

町道路側に設置の車両用防護柵について、徹底した維持管理に努め、町道の安全の確保を図るべきです。

答弁要旨

現在の町道は、121路線31.

6キロの道路延長となっており、議員が述べられましたとおり、町内の南側を通ります朝駒線が丘線には崖が多い区間でありますのでガードパイプやガードロープを数多く設置しているところであります。

毎年、当初予算に計上しております道路維持舗装工事費の執行にあたり、雪解け後に舗装・側溝・縁石やガードロープなど道路全般にわたり損傷状況を調査しており、例年では、積雪寒冷による凍上等により舗装路面

のひび割れや凸凹が数多くあります。また、ガードロープなどの付帯設備を含め、安全性を考え、優先順位を定めて補修を行つており、補修箇所が多い時には、補正予算を計上し対応しているところであります。

今年度においても町道の調査を行つたところ、例年同様、舗装路面の損傷箇所が数多くあり、また、ガードロープにつきましても、朝駒線が丘線も含めロープが緩んでいたり、部材が破損しているところがありましたので、それらを含め補修することとしております。

町道やガードロープ等の付帯設備につきましては、経年劣化により補修が必要な箇所も増えてきておりますので、それらの整備を検討しつつ、今後について緊急度、優先度を考慮し、道路利用者の安全・安心を確保するため、道路整備を計画的に進めてまいりますことを申し上げ答弁といたします。

行政常任委員会報告

所管事務調査報告

5月9日(火)『町内教育・保育施設の視察調査について』

小・中学校・こども園・児童館でアフターコロナにおける子どもたちの現状と、子どもを取り巻く保育、教育環境を知るための調査を行なつた。

3年間に及ぶコロナ禍は一人一台末端環境が促進された。アナログ・デジタル教材の良さを組み合わせ、より効果的に子ども一人ひとりに自己決定と選択、判断の意見表明の機会を保障するための環境づくりの支援を、子どもを取り巻く問題について

は、子どもの行動だけではなく、育つ背景(家庭)にも目を向け、学校(子ども園舎)内外をつなげて「チーム上砂川」での、協働、連携が大切なことと確認できました。

(記 笹木 瑞子)

道外政務調査報告

視察年月日

:令和5年5月14日～18日
1 「SDGs未来都市」
「ゼロ・ウェイスト」について
(徳島県上勝町)

「ゼロカーボンシティ宣言」をスタートした本町において、先進地での具体的な取り組みを今後に反映するための視察。

人口1,416人、74世帯、

高齢化率は52.19%の町。
1986年に「彩」の名前で葉っぱビジネスが生まれ、全国的に有名なブランドとなつた。

2003年には、国内初の「ゼロ・ウェイスト宣言」で第2の

ブランドを確立。町民一人一人

がゴミ消滅に取り組み、45種類に分別、自らゴミ集積場に運び込み、ゴミ収集車が一度も走つたことがない町である。小さな

町の大きな挑戦は世界からも注

目され、持続可能な社会への道筋を示した「四国いち小さな町」である。

2 「人と防災未来センター」について(兵庫県神戸市)

1995年の阪神・淡路大震災の経験と教訓からの防災・減災など地域防災力の向上に繋げるための視察である。

国内外の災害の経験と教訓の継承、災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援及び創造的な復興を図り、安心・安全な市民協働・減災社会の実現に貢献することを使命とし、2002年に兵庫県が設置。

（記 笹木 瑞子）

上勝町最初の町おこし事業 「葉っぱビジネス」

徳島県の中部で、山間地域であり、本町と同じ位小さな町です。

農業(彩・橘)の名前での、葉っぱビジネスが(日本料理の)「つまりもの」に着目発案、展開して上勝ブランドとして、全国的に

季節の葉や花など採取、栽培、

販売をする(農家)です。
「人々」の知恵、熱意で小さな
町が大きく変わっています。

(記 越前 等)

上勝町のゼロ・ウェイスト の取り組みについて

「燃やせるゴミ」は定期的に
収集されゴミ処理場で焼却。こ
れが上砂川町に住む私たちの常
識です。しかし、その「燃やせ
るゴミ」袋の中味のほとんどが、
正しく分別すれば資源として活
用できることを今回の上勝町訪
問で再認識致しました。徳島県
では「燃やせるゴミ」の名称を
「分別、頑張ったんやけど、燃
やすしかないゴミ」としていま
す。このネーミングからも県民
の皆様の資源再利用に関しての
意識の高さを伺い取ることができます。「燃やせるゴミ」ではなく「燃やすしかないゴミ」。私たちも、地球の未来のため
に、少し意識を変え、行動を起
こさなくてはいけないと強く感
じました。

(記 藏根 高史)

5月17日に人と未来防災 センターを視察して

阪神淡路大震災の実際の被害
や地震の規模について学び、展
示物や映像を通じて、震災がも
たらした大きな破壊と人々の苦
難を目の当たりにしました。
これからは地震に備えた物品や、
避難場所の理解の必要性がとて
も大事だと思いましたし、地震
以外の災害に対する意識の重要
性を再認識しました。

これらの知識を活かし、より
安全な地域づくりに貢献したい
と思います。

(記 石田 浩二)

「徳島、上勝町のアマゴ養 殖を見て」

五月に議会で徳島、上勝町に
視察に行つたとき、上勝町に
三〇年来の知人が「アマゴの養
殖場」(当地ではアメゴと言う
らしい)を経営しているので、
全員で見学をしてきました。
上砂川町もニジマスの養殖をし
ていますので、興味が有り訪問

をしました。ご主人と二人で、
数か所の生簀数十万匹の稚魚を

成育して、20cm前後の成魚に
して出荷販売しているようです。
今年はすでに出荷後で大きくな
ったが、まだ数か所の生簀に稚よ
り少しだけ大きくなつたのが数万匹
泳いでおり餌をやると一斉に集
まり元気そのもでした。

地域も含め四国で、消費する
場所があり事業として成立して
いるようです。

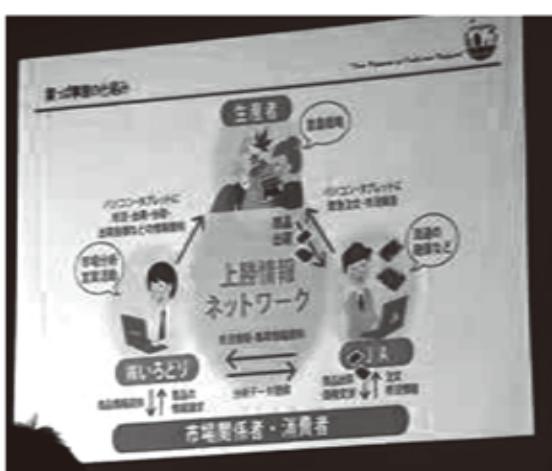
地域の特産の一つとして、消
費拡大の取り組みが有り、宿泊
したところでも、アマゴの塩焼
きを食べる事が出来、美味しい
いただきました。こちらで言う、
イワナ等に似た感じです。

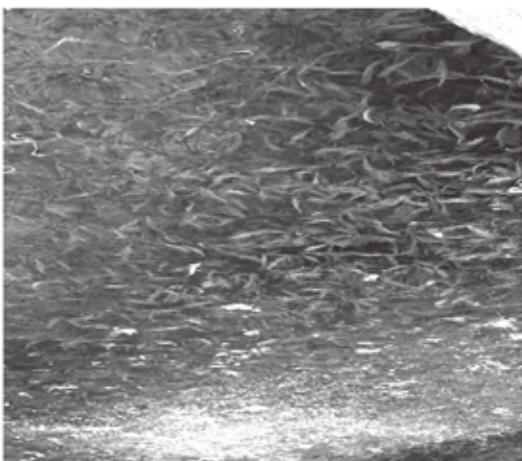
自然環境が整い、消費する文
化があり、地域の料理屋、宿泊
施設でも利用するようにしてい
る。

当町のニジマスも、パンケの
湯のメニューに手頃なサイズの
ニジマスの塩焼き等が有つても
良いのかと思つたところです。

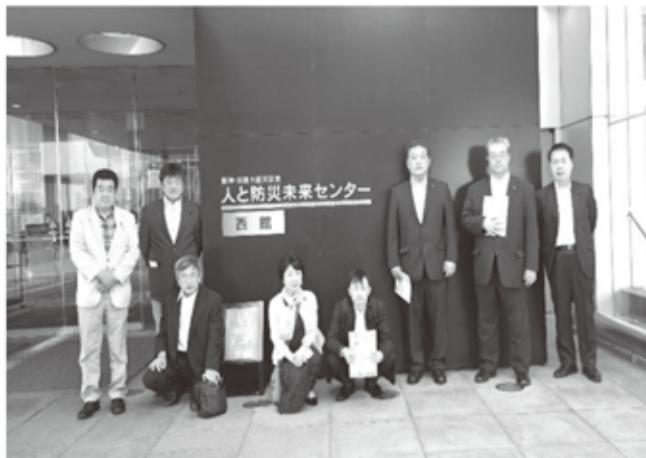
(記 吉川 洋)

上勝町視察研修





アマゴ養殖場



人と防災未来センター

町内行事への参加報告

上砂川消防演習

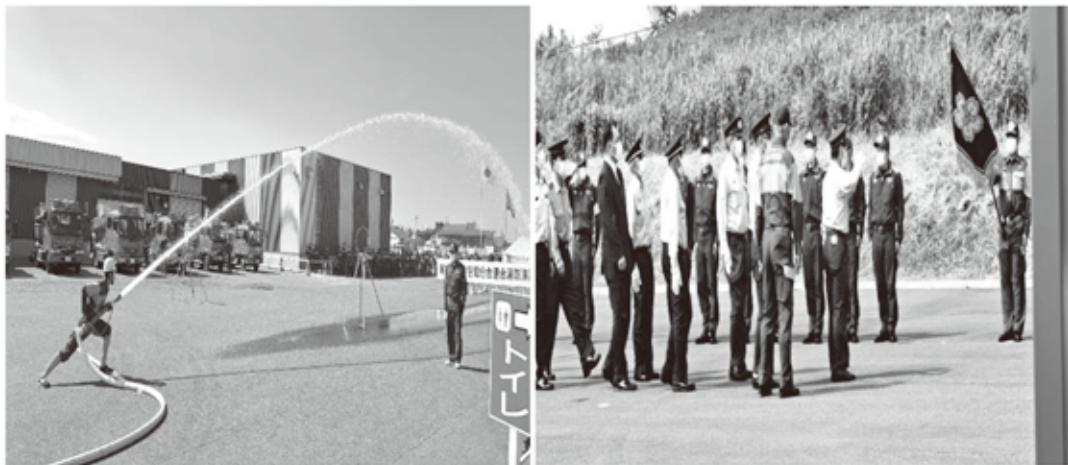
令和5年6月18日、上砂川消防演習が開催されました。

私は消防団員でありますので、来賓としてではなく団員として参加して参りました。団員一同、日頃の訓練の成果を発揮すべく、皆真剣に練習に臨んでおり、中でも今年の消防演習は4年振りに「ポンプ車操法」が行われ、とても素晴らしい操法を披露しておりました。

今年の「ポンプ車操法」出場隊は、全く経験のない若い新入団員が中心でしたが、とても短い訓練期間の中、厳しい訓練を乗り越えて、全くゼロの状態からここまで素晴らしい操法を披露してくれた出場隊を見て、操法の経験者であり、それがどれ程辛く厳しい訓練か知つてゐる私は、思わず目頭が熱くなり、涙が頬を伝うと同時に彼らがとても頼もしく感じ、私も負けな

い様にこれからも精進していくことを思う演習でした。

(記 伊藤 充章)



上砂川消防演習

（記 伊藤 充章）

「空知消防演習に参加して」

6月25日に滝川市で行われました中空知消防演習に議会の代表として参加をしてきました。

当日は30度近い気温、炎天下の中での演習でした。

参加された、職団員の皆さん

はあの暑さの中、大変厳しい環境であったと思います。にもかかわらず、きびきびした行進等、日々の訓練の練度の高さを示してくれました。全道大会へ出場する、芦別、奈井江のポンプ操作法は目を見張る素晴らしいものでした。

参加をされた各市町の消防職員の皆様、暑い中ご苦労様でした。地域の安全安心を見守つていてる姿に感謝申し上げます。

(記 吉川 洋)



「第21回仮装盆踊り・花火開会に参加して」

8月13日の仮装盆踊り・花火大会が開催されました。

4年ぶりに何も制約なく開催された為か、本当に沢山の皆さんが会場に来ました。

はじめに行われたbingoゲームでは用意された250枚のカードがあつという間に無くなりました。

会場に来られた方々に思い切り楽しんで頂くために、役場職員の皆さん、商工会議所関係の皆さんが、早くから汗だくになりました。

官民一体となつての手作りのイベントに対して、空知総合振興局をはじめ、御来賓の皆さんからも素晴らしいと評価をされました。

その思いに応えるように、盆踊りが始まるころには、町の人

口の数倍の人々が会場にあふれていました。

楽しい行事を待っている人が如何に多いのか実感しました。

町長の挨拶の中に来年に期待出来そうな事がありましたので、来年は更に来場者が増えることを感じながら最後に花火を楽しんで一日を終えました。

(記 吉川 洋)

仮装盆踊り・花火大会



議員の呟きコーナー(^.^)/~~~

「私の一番苦手な場所」

昨年の2月、突然歯の詰め物が取れてしましました。最初は痛みもなく、しばらくそのままにしていましたが、妻が定期的に歯医者へ通っていたこともあり、状況を相談してみることにしました。

しかし、結果は予想外でした！なんと詰め物にも寿命があり、10本もの治療が必要だとのことでした。

私は大きな悩みがありました：それは「嘔吐反応」です。これまでの経験から、口を大きく開けるだけでも強烈な嘔吐反応が出ることを知っていたため、治療にはかなりの勇気が必要でした。

それでも歯の健康は大切だと思いながら、1か月後に治療を決心しました。歯医者では親切にして頂いて、

治療はこまめに休憩を頂いたり、温かい声をかけて頂いたりで、何とか1年かけて全部治しました。

この苦い経験から「二度と虫歯の治療はしたくない」という気持ちには変わりませんが、虫歯にならないようにケアを怠らないようにしていきます。歯は大事だと言いますが、治療は避けたいので定期的に歯の状態を診てもらいます♪歯はとっても大事だと痛感しました。

皆さんも歯の治療が必要な方は治しましょうね。

(記 石田 浩二)



編集後記

本年は、認定こども園や小学校の多くの行事に参加させていただきました。子ども達から、たくさんの元気を頂戴し、大変充実した夏を迎えた感謝。

さて一方、わが国の昨年の出生数が80万人を割り込み、過去最少となつたとのこと。国立社会保障・人口問題研究所が17年に公表した将来推計人口では、出生数が80万人を下回るのは33年と見込んでいた。しかしながら定を上回るスピードで少子化が進んでいることが明らかになつた。

次世代を育む仕組みを作るには、国、地方自治体の連携を取り組みが重要です。特に地方議員が果たす役割は大きいと指摘されています。これからも、この上砂川で、たくさんの子供たちの笑顔が溢れる町づくりのため、微力だが、たくさん汗を流して参りたい。

(記 小澤 一文)



議会広報誌の編集委員

・吉川 洋・伊藤 充
・越前 等・小澤 一文
・石田 浩二
・ 笹木 笑子・藏根 高史